

TM、板橋区の小学校と食育連携授業

テーブルマークは東京都板橋区立赤塚小学校と連携して食育授業「小学6年生が自分で作る時短でおいしい！見た目や栄養バランスにもこだわったメニュー発表会」を12日開催した。児童は授業を通して、自分たちで考えて調理することの楽しさなどを学んだ。

赤塚小の児童が「時短」、「栄養バランスが整った献立」、「テーブルマーク社のうどんかパックごはんを使用」という3つの条件を満たした上で、自分たちでメニューを考え、調理した。



6年生の児童の前で挨拶したテーブルマークの社員

児童は4～5名ずつ24班に分かれてそれぞれが考えた献立の調理手順やレシピなどについてプレゼンを実施。プレゼンに使用した資料も児童たちが作成した。テーブルマークの社員が24班をA～Dの4つのブースに分かれて評価者として参加し、料理やプレゼンの中身をフィードバックした。

Cブースを評価した社員は3色うどんと青菜のおひたしを作った3組5班を「時短の中に片付けの時間も含んでいたことがとても好印象だった。また、栄養のバランスだけではなく彩りも、とても良かった」と最も印象に残ったグループに挙げた。

食育授業を終えた児童は「家で料理する時は自分で考えることはないけど、他の班とかぶらないために何を作るのかと考えるのはとても楽しかった」と笑顔を見せた。

南野秀人教諭は「赤塚小学校は企業連携の取組みに力を入れていて、去年は板橋区内の企業とコラボしたが、今年は初めてテーブルマーク様とコラボした。これを機に子どもたちの学びの気づきや広がりにつながってほしい」と語った。

終了後、児童にコシノツヨシ（テーブルマークのキャラクター）のシールをプレゼントした。